

1 背景

- (1) 国の「骨太の方針（R3.6）」において、ポストコロナの持続的な成長基盤を作っていくため、**グリーン・デジタルなどの成長分野の取り組みの強化**や、**イノベーションを喚起**することを明記
- (2) R3.6月のフォローアップ委員会において、「**さらなる地産外商が必要**」との指摘（**県際収支（移輸出額－移輸入額）：▲5,930億円（H27産業連関表）**）

➡ **本県の産業振興計画においても、ポストコロナや一層の地産外商を見据えた見直しが必要**

2 視点

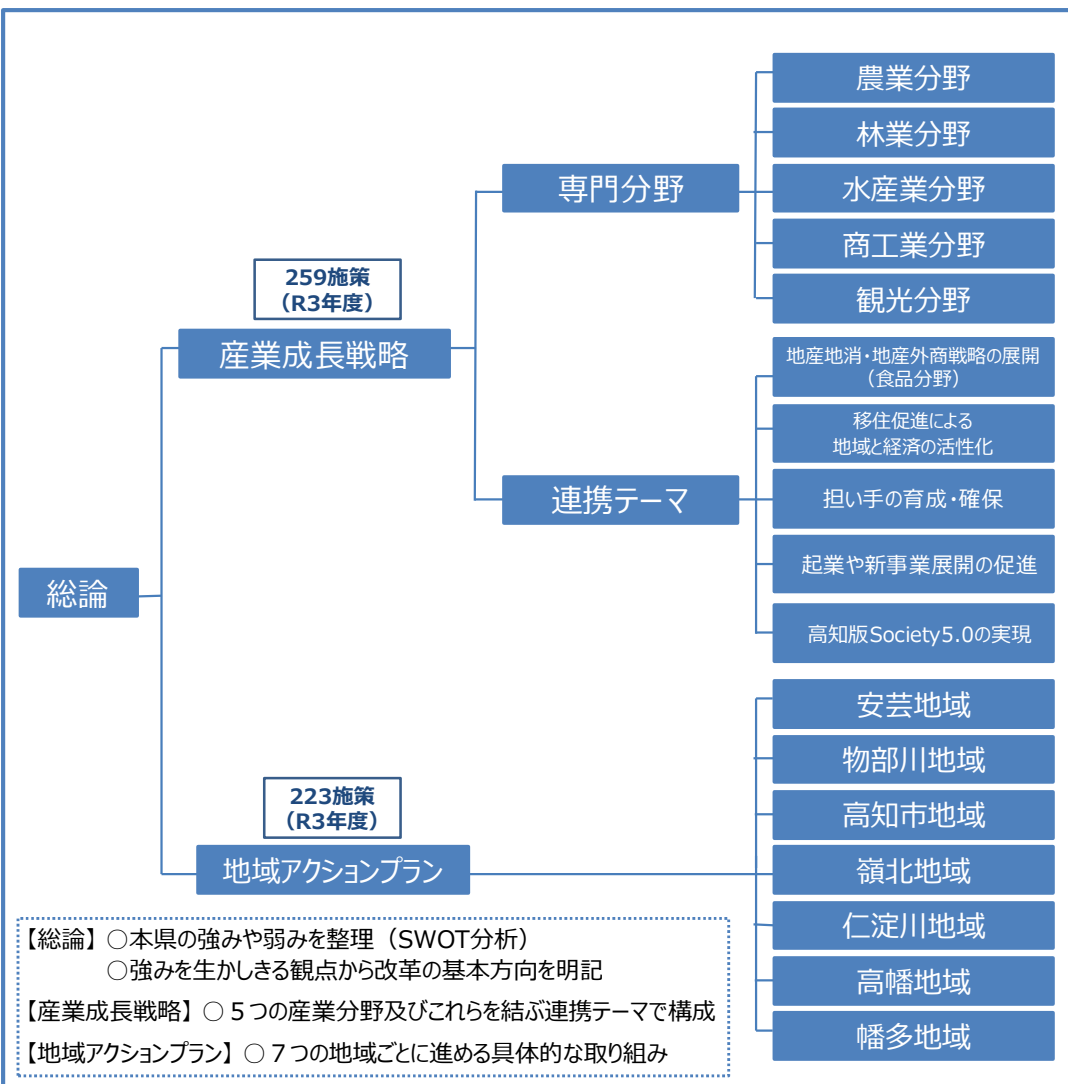
- (1) 県政の重点課題でもある「**デジタル化**」、「**グリーン化**」、「**グローバル化**」といった視点を産業振興計画に取り込んでいく
- (2) 県内外から多くの人材や知恵、資本などを呼び込み、**産学官民連携による取り組みを加速化**していく
- (3) 持続的な経済成長に向け、**新たな産業づくりに挑戦**していく（イノベーションの創出）
- (4) 持続可能な社会の実現を目指し、**SDGsを意識した産業への転換**を図っていく

3 見直しの内容

上記の視点を踏まえ、以下のとおり**連携テーマ**を見直し

○ **分野を超え、産学官民の連携を一層強め、重点的に取り組む必要のあるものを「プロジェクト」化**していく

産業振興計画の構成



NEW

5つの「連携テーマ」と「プロジェクト」（案）

連携テーマのプロジェクト化を図り、プロジェクトを中心に議論 ※それぞれのプロジェクト（PJ）については、今後、随時追加していく					地域A/P
農業分野	林業分野	水産業分野	商工業分野	観光分野	
① デジタル化の促進					3つのキーワードのもと、 連携テーマを設定
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
② グローバル化の促進					既存の連携テーマを整理
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
③ グリーン化の促進					関西経済連携
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
④ 外商活動の全国展開					新たな加工食品の創出・販売拡大
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
⑤ 担い手の育成・確保					移住促進 外国人材確保 事業承継 起業・新事業展開
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	
◇	◇	◇	◇	◇	